

観月会 2015

天心邸茶会

亭主
村田 宗恭 (表千家)

10月18日(日)

午前11時～午後2時

五浦美術文化研究所・天心邸

入場料+茶代 500円

六角堂展

「環の象」横尾 哲生

10月17日(土)～11月15日(日)

午前8時30分～午後5時00分(11月4時30分)

月曜休館

五浦美術文化研究所・六角堂

入場料

一般・高大生 300円、小中学生 無料

講演会

「天心と下村観山」

小泉 晋弥

五浦美術文化研究所副所長

10月18日(日)

午後2時～午後3時

茨城県天心記念五浦美術館

講堂/入場無料

観月会 2015

観月会2015について

岡倉天心が、飛田周山の案内で五浦に土地を求めたのは1903(明治36)年の5月頃のことでした。天心はこの五浦の地をいたく気に入り、二年後には六角堂を構え、ここを拠点としてボストン美術館勤務などの国際的な活躍をしました。1906(明治39)年には日本美術院を五浦に移し、各界の名士を招待して「仲秋観月会」を開催しました。「観月会2015」は、この催しを偲んで開催するものです。

六角堂と天心邸には、木によって世界の循環を表わす横尾哲生氏の作品を、10月17日～11月15日まで展示いたします。10月18日の講演会では、天心と観山の関係とその作品について新たな観点から考えます。同日には、天心邸での茶会も催されます。



《環の象 '14-2》 2014

六角堂展 「環の象」横尾 哲生

10月17日(土)～11月15日(日) 8:30～17:00(11月～16:30)

月曜休館

横尾哲生(よこお てっせい)氏は、龍ヶ崎市在住の木の芸術家です。近年「環の象」というシリーズで、環境あるいは循環という言葉にある「環」の文字がもつ全体性と個の関係を追及されています。そのイメージは、岡倉天心の『茶の本』で貫かれている思想に通じます。ゆるやかでありながら緊密な、独特の作品世界を六角堂で展開していただきます。

天心邸茶会

10月18日(日)11:00～14:00 天心邸

亭主:村田 宗恭(むらた そうきょう) 表千家

年に一度、天心邸を開放する催しです。『茶の本』のこころを体験する形にこだわらない茶会です。お気軽にご参加ください。

先着50名のお茶券(500円)は、当日天心邸入り口で受け付けます。

講演会 「天心と下村観山」

10月18日(日)14:00～15:00 天心記念五浦美術館講堂

参加費無料

小泉 晋弥(こいずみ しんや) 五浦美術文化研究所副所長

天心は、観山をアメリカに「日本のジコット」と紹介しました。大観や春草のようなくっきりとしたイメージはなくとも、専門家には評価の高い観山を、みごとに言い表わしています。天心が、観山を高く評価したのはなぜなのかを考え、新たな側面を発見したいと思います。



○交通のご案内

JR東日本・常磐線:大津港駅下車、約5km・タクシーをご利用下さい。
常磐自動車道:北茨城インター&いわき勿来インターより約12km

茨城大学五浦美術文化研究所[天心遺跡]

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町五浦727-2 TEL 0293-46-0766

茨城県天心記念五浦美術館

〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿2083 TEL 0293-46-5311